

JAならけんおすすめ資材（7月）

テントウムシダマシ（ニジュウヤホシテントウ）の防除について

営農推進課
農業資材課

主にナス科やウリ科の植物に発生します。ナスやジャガイモ、トマト、キュウリ、ピーマンなどの野菜類のほか、草花や庭木など幅広い種類の植物の葉っぱを食害します。なお、葉を食い尽くすと茎や果肉をかじり始めます。

発生時期は6～10月上旬ですが、ナスでは6～8月にかけて被害が出ます。

防除薬剤を整理しましたので、活用をお願いします。



1. 予防策

①テントウムシダマシは、春にジャガイモ畑に卵を産み、そこから生育場所をひろげていく。ジャガイモのそばには、なるべくナス科やウリ科の野菜を植えないようにする。

②被害に遭う野菜のまわりにデントコーン（飼料用コーン）を囲う様に植える。

2. 防除薬剤

防除薬剤名	使用倍数並びに使用時期	登録作物	規格	税別販売価格（円）	備考
アクタラ顆粒水溶剤	2000倍（なす前日まで）	なす・かぼちゃ等	100g	920	
アディオン乳剤	2000倍（なす前日まで）	なす・キュウリ・ピーマン等	100ml	1,780	
コテツフロアブル	2000倍（なす前日まで）	なす・すいか・トマト等	100ml	2,160	
スミチオン乳剤	1000～2000倍（なす3日前まで）	バレイショ・なす・かぼちゃ等	500ml	1,380	
モスピラン顆粒水溶剤	2000～4000倍（すいか3日前まで）	すいか・ピーマン・なす等	100g	1,760	

※対象害虫に登録がないが、作物登録があって効果が期待できる農薬も掲載しています。

（平成30年6月28日作成）

水稻の「いもち病」への準備は万全ですか？



葉いもち



穂いもち

新規いもち病剤『トルフロカルブ』配合！ ゴウケツシリーズのご紹介

**2次感染阻止効果が高いー味違う！
予防効果でいもち病から稲を守ります！**

ゴウケツシリーズの予防効果について

①一般的な予防効果

いもち病菌の侵入を阻止



さらにゴウケツシリーズは…

②高い2次感染阻止効果があります！

いもち病初発時に散布した場合

■二次感染阻止効果の低い一般的な予防剤

■ゴウケツシリーズなら



初発を確認してからの散布では他の部分や株に胞子が飛散していもち病の拡大リスクが高くなります。



上位葉へのいもち病の感染防止！

初発を確認してからの散布でも胞子の飛散を抑え、他の部分や他の株へのいもち病の拡大を防ぎます。

いもち病を防除したい方

水稲用殺菌剤

ゴウケツ 粒剤



(使用時期)
出穂5日前まで
但し、収穫 30 日前
まで

2,700 円(税抜)

いもち病、紋枯病、
カメムシ類を同時防除したい方

水稲用殺虫・殺菌剤

ゴウケツモンスター 粒剤



(使用時期)
出穂5日前まで
但し、収穫 45 日前
まで

5,300 円(税抜)

用途に応じてどちらかを選択してください(年1回まで)

お問い合わせは、お近くのJAならけん営農経済センターへ

